

「長寿のお祝い」

9月15日は敬老の日です。黒潮町では、9月9日に、町内で100歳を迎えた方と100歳以上の方（明治42年3月31日までに出生した方）を対象に、ご長寿のお祝いと表彰が行われました。

当日は、黒潮町町長と社会福祉協議会会長、役場関係者をご本人を訪問し、総理大臣からの長寿の表彰状と、各機関からの記念品の贈呈がされました。

みなさん、とてもお元気そうで、長生きの秘訣を尋ねると「若いときから好き嫌いせず何でも食べること」「一人では生きていけない。周囲の人に感謝しておること」ととても貴重なコメントもいただきました。

これからも、健やかに長生きをしてくださいな。

○お問い合わせ

- 大方総合支所 健康福祉課 福祉係
- 43-2116(直通)
- 佐賀総合支所 健康福祉課 保険福祉係
- 55-3112(直通)

黒潮町のご長寿9人のみなさん ~ご長寿おめでとうございます これからもお元気で~

祝100歳



はしだ いちの
橋田 市野さん
(蜷川)

祝100歳



かわむら かめよ
川村 亀代さん
(馬荷)

祝101歳



はまさき さなえ
浜崎 佐奈恵さん
(上川口浦)

祝100歳



いわがわ きよし
岩川 清さん
(大和田)

祝100歳



○ 國見 節尾さん (鞭)

みしろ あきこ
三城 秋子さん
(伊田浦)

祝102歳



やの はなみ
矢野 花美さん
(馬荷)

祝103歳



こばし よろず
小橋 萬さん
(入野本村)

祝100歳



さとう あやこ
佐藤 綾子さん
(上川口郷)



9月6日、総合センターで高知県知事との「対話と実行」座談会が行われました。この「対話と実行」座談会は、高知県知事が県内全市町村を巡り、現場の視察や地域の住民と実際に対話を行うことで、それぞれの地域の実情や課題を把握し、県政に反映させるために、今年4月から行われています。18回目の開催地である黒潮町では、町内から応募のあった10人の住民の方が座談会に参加しました。(その他、高知県庁職員、黒潮町職員、黒潮町議会議員や傍聴者、その他関係者が座談会に参加しました。)

高知県知事と直接対話 「対話と実行」座談会開催



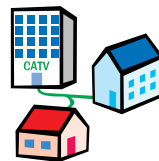
県内の財政の状況を説明する 高知県尾崎正直知事

座談会では、尾崎知事から「この広い高知県内は、観光面、地域面でそれぞれに魅力があり、また、課題も多くあります。高知県の厳しい財政状況の中で、政策を決めていかなければなりません。政策を決めるためには地域の状況を把握して、十分な話し合いが必要であり、そのためにはこの座談会を行っています。」と、高知県内の財政状況や現段階での県の取り組みの説明を含めた話がされ、町内からの参加者一人ひとりから、1次産業・地域の活性化・教育・国道改良・公共交通・子育てなどについての意見や提案、質問などがされました。*「対話と実行」座談会の詳しい内容については、高知県ホームページ(<http://www.pref.kochi.jp/~kensei/zadankai/index.htm#1>)をご覧ください。

情報通信基盤整備事業(ケーブルテレビネットワーク事業)住民説明会を行っています

黒潮町内全域に、役場からのお知らせや、緊急・災害時のお知らせがきちんと行き届く環境を整備し、テレビ難視聴地域への共聴施設に替わる整備や、ブロードバンド・ゼロ地域の解消、携帯電話の不感知地域への対策を行うために『情報通信基盤整備事業(ケーブルテレビネットワーク事業)』を計画しました。

情報通信基盤整備事業(ケーブルテレビネットワーク事業)に関するお問い合わせは本庁総務課企画振興係(☎43-2112)までお気軽にお問い合わせください。



北郷地区の納涼祭

8月23日、北郷地区(大屋敷地区主催)の納涼祭が、旧北郷小学校で行われました。

当日は、午前中から、女性陣は出店用のちらし寿司やお菓子の準備、男性人は会場の準備に取り掛かっていて、北郷地区は開会前からにぎやかな雰囲気になっていました。会場には、開会時間になる前から、楽しみにしていた地元のおじいちゃんやおばあちゃんが集まってきました。この日のために、町外から帰省してきたという地元の方も久しぶりの北郷を懐かしんでいる様子でした。また、鞭地区と馬術地区の各地区からは盆踊りの踊り子隊が、また各地域からたくさんの方が噂の花火を楽しみにやって来ました。



出店には地元で準備された手づくり品も

今年、北郷の魅力がいっぱい知ってもらおうと、野菜やお茶など地元の産物や手づくり雑貨なども出店に並び、8月上旬に町内の小学生と作った手作りうちわを来場者に配るサービスもありました。

「今年も、昨年大好評であった打ち上げ花火を、盛大に打ち上げたいと思います。馬術地区のみなさん、またイノシシがそちらに向かうと思いますが、どうぞご勘弁をお願いします!」大屋敷地区堀区長からの挨拶を合図に花火が勢いよく打ち上げられました。数こそは少ないものの、山に囲まれた中、間近に見る花火は音も大きく迫力も倍増で、会場にいる全員に、感動と興奮がいつぱんにもたらされているのが分かりました。

「昨年以上に盛り上がった納涼祭でした。これから、この迫力満点の打ち上げ花火を地元の人はもちろん、もっとたくさんの人に楽しんでもらえるように計画していきたいです」地元関係者からは、大変頼もしいコメントをいただきました。

来年も楽しみにしています!

ウミガメ放流をしたよ!

今年6月に、横浜地区の海岸で、ウミガメの卵が保護されました。

町内のウミガメ保護委員である吉村脩さんのお世話で、無事に卵がふ化し、8月18日には、同海岸で、この日を楽しみにしていた横浜保育所と佐賀保育所の子どもたち38人が吉村さんから指導を受け、ウミガメの放流を行いました。50匹の子ガメたちが一生懸命に海へ向かって歩いていく姿を、子どもたちは「がんばれ!!」と、声を掛けて見守っていました。



クリーンウォークを実施しました

8月8日。「道路ふれあい月間」にあわせて、四国4県各地で88クリーンウォークが行われました。

町内では、地域づくりや緑化活動に取り組む団体「なぶら」が賛同し、横浜トンネルから土佐西南大規模公園(佐賀地域)までの国道沿いを歩きながら清掃しました。

約1時間、タバコの吸い殻や空き缶などゴミを拾い歩きました。路上に捨てられていたゴミの量は、以前に比べて少なくなっていますが、花壇などにまとめて捨てられており、非常識な行動が目立ちます。みんなの道路です。きれいに使いたしましょう。



「なぶら」メンバーのみなさんです